

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【公表番号】特表 2008-532639 (P2008-532639A)

【公表日】平成 20 年 8 月 21 日 (2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報 2008-033

【出願番号】特願 2008-500891 (P2008-500891)

【国際特許分類】

A 4 4 B 18/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/56 (2006.01)

【F I】

A 4 4 B 18/00

A 4 1 B 13/02 H

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 6 日 (2009.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ループ布帛と係合するファスナ (14) であって、複数の係合突起 (13) のある前面 (20) を有するベース (4) を備え、前記係合突起の少なくとも幾つかが、前記突起を取り囲む縁部角度を形成する上面端部と、付着端部と、前記上面端縁部から前記付着端部まで延在するマントル面とを有し、前記マントル面 (28) の側面図の少なくとも 1 つの輪郭線が、上面縁部から前記付着端部まで厳密に凸状である、ファスナ (14)。

【請求項 2】

前記少なくとも幾つかの係合突起上面端部が、構造化されている、請求項 1 に記載のループ布帛と係合するファスナ (14)。

【請求項 3】

前記少なくとも幾つかの係合突起が第 1 の材料で形成され、前記ベースの前面が前記第 1 の材料とはある特性が異なる第 2 の材料で形成されている、請求項 1 または 2 に記載のループ布帛と係合するファスナ (14)。

【請求項 4】

前記係合突起が、少なくとも 2 種類の異なる粒子で形成されている、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のループ布帛と係合するファスナ (14)。

【請求項 5】

- ・複数の好適なポリマー粒子を提供する工程、
- ・前面を有するベースを提供する工程、
- ・好適な表面エネルギーの接触離型面を提供する工程、
- ・前記接触離型面上に前記複数のポリマー粒子を分散させ、それによって、前記接触離型面に着座し且つ前記接触離型面から対応する末端部まで突出する別々の予備形成突起を形成する工程、
- ・好適な粘度の少なくとも半液状で前記接触離型面上に分散されるポリマー粒子を提供し、前記粒子の少なくとも幾つかが、前記ポリマー粒子の表面エネルギーと前記接触離型面の表面エネルギーに影響される接触縁部を有する予備形成突起に変化するのに十分な時

間、前記接触離型面と接触する工程、

- ・前記ベースの前面を前記予備形成突起の少なくとも幾つかの末端部と接触させ、固定する工程、

- ・前記ベースを取り外し、それによって、前記ベースに固定されている前記予備形成突起を前記離型面から分離させる工程、および

- ・それによって、前記ベースの前面から突出する係合突起を形成する工程、を含む、ファスナの形成方法。

【請求項 6】

身体側ライナーと、少なくとも一部不織布で形成された外面とを備える使い捨ておむつ（10）であって、少なくとも1つの側部に請求項1～5のいずれか一項に記載の雄メカニカルファスナが提供されているおむつ。